

2026～2027 SHIKI WEEKLY

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ



持続可能な
インパクトを
生み出そう

志木ロータリークラブ

2026-27年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキム・ハバロラ 「CREATE LASTING IMPACT」
2026-27年度 第2570地区 ガバナー 原島 生慈 「ロータリー活動に誇りを！」
2026-27年度 志木ロータリークラブ 会長 國分 学 「志木SHIKIプライド」

第2473回 例会

2026-7-8

- ◎司会 末富 啓道 副会長
- ◎点鐘 國分 学 会長
- ◎ソング 我らの生業
- ◎ソングリーダー 木下 哲男 会員
- ◎四つのテスト 木下 哲男 会員



ソングリーダー・四つのテスト 木下哲男会員

「会長挨拶」会長 國分 学

皆様、こんばんは。

本日は7月8日、今年度初めての「夜間例会」となります。日中のお仕事を終え、駆けつけてくださった皆様、本当にありがとうございます。

私が就任挨拶の際、今年度の柱の一つとして「時代に合わせた組織の活性化」を掲げさせていただきました。その大きな取り組みの一つが、本日のような「例会時間の多様性」です。

現代は働き方もライフスタイルも本当に様々です。昼の例会と夜の例会。それぞれの良さを活かしたハイブリッドな運営を取り入れることで、「無理なく、そして来なくなる例会」を実現していきたい。そんな想いで、こ



の夜間例会を有意義なものにしていきたいと考えております。

さて、本日は夜間例会ということで、皆様に少しリラックスして聞いていただけるよう、ロータリーの「豆知識」をお話したいと思います。

皆様、私たちが胸につけているバッジ、この「歯車」のマークにはどんな意味があるかご存知でしょうか？

ロータリーは1905年、アメリカのシカゴで誕生した際、数人の会員たちの職場を「輪番（ローテーション）」で回って会合を開いていたことから「ロータリー」と名付けられました。

そして歯車のマークは、「歯車は一つだけでは回らない」ということを意味しています。職業や年齢の異なる会員同士がしっかりと噛み合って初めて、地域社会を動かす大きな奉仕の力を生み出す。そんな願いが込められています。

ちなみに1923年までは、この歯車の真ん中に「キー溝（軸を通す穴）」がありませんでした。しかし、「溝がないと軸の力が伝わらず、

空回りしてしまう」という意見から今のデザインになったそうです。私たちも決して空回りせず、地域という軸にしっかり噛み合っていきたいと思います。

このロータリーの歯車のバッジですが、実は世界を動かした歴史的な指導者たちの胸にも輝いていました。特にアメリカの歴代大統領には多くのロータリアンが名を連ねています。例えば、ニューヨーク州のオルバニー・ロータリークラブに所属していたフランクリン・D・ルーズベルトをはじめ、トルーマン、アイゼンハワー、ケネディ、ニクソン、カーター、レーガン、そしてブッシュ親子など、名誉会員も含めると実に多くの大統領がロータリーの理念に賛同し、そのバッジを胸に世界を動かしていました。

しかし、そんな「ロータリーへの誇り」を、少し違った角度から描いた面白い映画があります。レオナルド・ディカプリオが主演した『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』をご覧ください。この映画の冒頭、ディカプリオ演じる主人公の父親は、ロータリークラブの熱心な会員であり、例会で素晴らしいスピーチをして仲間から大喝采を浴びます。彼はそのステータスを非常に誇りに思っていました。

しかし、物語が進むと、彼は裏で税金をごまかして没落していき、あろうことか、信頼していたはずのロータリー仲間に自分の妻を寝取られて家庭が崩壊してしまうのです。映画では、地域の「名士の集まり」であるはずのロータリークラブの、少し皮肉でコミカルな裏側が描かれているわけです。

本日は通常夜間例会ですのでお酒は入りませんが、その分、歴史を創った先人たちのように、じっくりと質の高い対話と交流を楽しめる時間です。この後の炉辺等でお食事をなさる方も、お互いの歯車をしっかりと噛み合わせるような、有意義な親睦の時間を存分に味わってください。

以上で、本日の会長挨拶といたします。ありがとうございました。

「幹事報告」

幹事 影山 知良

1. 国際ロータリー日本事務局より 1 件受信
7 月のロータリー為替レート \$ 1 = ¥162

「RLI 終了証授与」

会長 國分 学



終了証を授与された塩野会員(中央)と遠藤会員(左)

※RLI とは

RLI (Rotary Leadership Institute、ロータリー・リーダーシップ研究会) は、ロータリークラブの将来のリーダーを育成するための教育プログラムで、国際ロータリー (RI) に承認されている多地区合同プログラム

塩野会員

RLI のセミナーを全部で 4 回ほど参加し、最後はファシリテーターみたいなものも務めました。長丁場ですが、参加してみると他のクラブの方々と仲良くなれて、大変勉強になりました。まだ参加していない方はぜひ参加することをお勧めします。

遠藤会員

終了証いただきました。塩野さんと 10 月頃から毎月 1 回参加しましたが、朝から夕方までみっちりやります。最初は大変だと思いましたが、1 日割と早く終わって、楽しかったです。会長が今年は 7~8 人志木から出したいと仰っていましたので、奮って参加いただけたらと思います。ありがとうございました。

「委員会報告」

●親睦活動委員会

委員長 鈴木 忍



7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

8月5日の小諸ロータリークラブとの納涼例会について、例年とは違い志木での例会は無く、小諸で合同例会となります。翌日6日に親睦ゴルフがありますので、2日間参加可能な方はよろしくお願いします。

『ロータリーの友』7月号記事紹介

雑誌委員長 深澤 好文



【横組】

P5 RI 会長メッセージ

持続可能なインパクトを生み出す

P22 2570 地区 原島ガバナーの挨拶

P42～43 赤ちゃん食堂が母子の孤立を防ぐ

【縦組】

P2～6 白石康次郎氏「信じて行動すれば夢はかなう」

P16 あるある相談室 ロータリー活動と仕事の優先順位

「卓 話」

「大東ガスの『地域連携』の取り組みと新しい企業理念・長期経営ビジョン」

高嶋英一 会員



皆さん、こんばんは。大東ガスの高嶋でございます。

本日は、大東ガスが取り組む「地域連携」と、

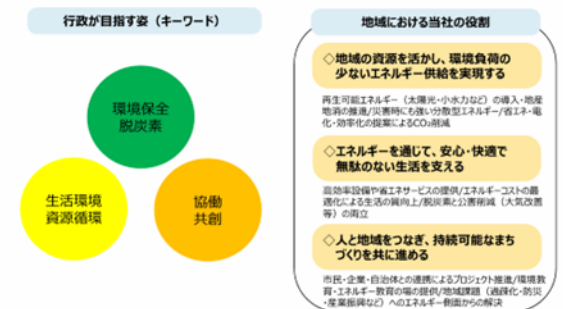
新たに策定した企業理念・長期経営ビジョンについてご紹介します。

現在、日本は人口減少と人材不足という大きな課題に直面しています。出生数は過去最低を更新し、地域経済の縮小が懸念される中、従来のように国が財政支援を行うだけでは限界があり、地域自らが課題を解決していくことが求められています。また、気候変動の影響により豪雨などの異常気象が深刻化する一方、世界では脱炭素政策の停滞も見られます。このような状況の中、自治体では環境保全、脱炭素、資源循環、市民・事業者・行政の協働による持続可能なまちづくりを進めています。

1. 現状の課題と当社の役割（エネルギー企業としての地域連携）

（4）各市町（志木市、富士見市、三芳町）の目指す姿と当社の役割

◇地域での当社の役割（当社と供給地域は「運命共同体」の関係）



私たちは「地域が発展してこそ企業も発展できる」という考えのもと、地域と運命共同体として歩んでいます。そのため、環境負荷の少ないエネルギー供給や安心・快適な暮らしの支援、人と地域をつなぐ役割を果たしながら、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

具体的には、都市ガス事業ではガス導管の耐震化率 99.5%を達成し、災害に強いインフラ整備を進めています。また、防災訓練を定期的に行い、社員の災害対応力向上にも力を入れています。さらに、カーボンオフセット都市ガスや CO2 フリー電気の提供を通じて脱炭素化を推進しています。因みに 2016 年からは電力小売事業も開始しています。

地域連携では、志木市・富士見市・三芳町と包括連携協定を締結し、東京ガスとともに様々な取り組みを進めています。小中学校での環境教育、公共施設への CO2 フリー電力の供給、世界農業遺産である三芳町の落ち葉堆

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい
■富士見RC 毎週(金) 12:30～ 島田ビル1F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧(順不同)
事務局 049-251-6596

2473-3◇
志木 RC 会報

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 です

肥農法への支援、植樹活動への協力などを実施しています。また、新本社は災害時の一時滞在施設として活用できるよう整備し、地域イベントや清掃活動、防犯活動、子ども食堂への施設提供など、地域に密着した活動も積極的に行っています。一方で、こうした活動だけでは十分ではないと認識しており、今後はより主体的に地域課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。

2. 当社の取り組みについて

(3) 行政との包括連携協定について（当社から積極的に働きかけ）

① 「カーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定」に関する取り組み

- ◇三芳町、富士見市、志木市と、東京ガス㈱、当社の3者で「カーボンニュートラルのまちづくりに向けた包括連携協定」を締結。
- ◇脱炭素社会の実現に向けて、自治体と協力して具体的な取り組みを実施。



その思いから、2025 年度には 20～30 代の若手社員 10 名を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、新しい企業理念と 2050 年を見据えた長期経営ビジョンを策定しました。あえて外部コンサルタントに頼らず、社員自らが全国の先進企業を訪問し、役員との議論を重ねながら、自分たちの手で未来像を描き上げました。重要なのは、理念を作ることではなく、それを自分たちのものとして実践することです。

3. 当社の新しい企業理念、長期経営ビジョンについて

(1) 企業理念、経営理念、長期経営ビジョンの策定

- ◇2025年4月に20～30代の若手社員を中心とした社内プロジェクトを立ち上げて、企業理念、2050年に向けた長期経営ビジョンを策定。外部コンサルを入らず、社員自らが一から策定いたしました。
- ◇策定のプロセスにおいては、他エネルギー事業者様への直接訪問や社員一人ひとりの声を丁寧に集め、社員自身が自分事として、2050年の社会と会社のありたい姿を描いたことが大きな特徴です。
- ◇そして、長期経営VISIONでは、最終ゴールを2050年とし、どんな未来になっているか、その未来において当社がどうありたいかを大胆に想像し、多面的に描きだしたものになっています。

① 策定にあたって実施したこと

- ◇プロジェクトメンバー自ら同業他社様への直接訪問。（理念、ビジョン策定に向けた情報収集）
- ◇社長、役員、社員全員との意見交換会の実施。
- ◇関係会社様を含めた全社説明会 など



説明会風景



意見交換会風景

新しい企業理念は「もっと好きな未来を、私たちのエネルギーで」。エネルギーには、供給するエネルギーだけでなく、社員一人ひとりの情熱という意味も込めています。そして経

営理念には「地域の未来を共創するライフプラットフォーム企業へ」を掲げ、単なるエネルギー会社ではなく、地域とともに価値を創造する企業を目指します。

2050 年ビジョンでは、都市ガス・電気などの既存事業に加え、再生可能エネルギーやメタネーションなどの未来エネルギー、地域課題を解決するソリューション事業、さらには農業など新たなライフサポート事業への挑戦も視野に入れています。行政や地域と連携しながら、新しい価値を生み出す企業へ進化していくことが目標です。

3. 当社の新しい企業理念、長期経営ビジョンについて

(2) 当社の新しい企業理念、経営理念、行動指針

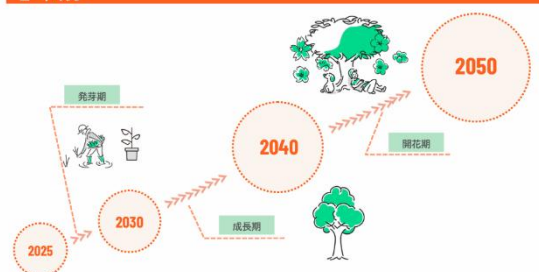


私たちは、この理念を掲げるだけで終わらせるのではなく、社員一人ひとりが主体的に行動し、地域の皆様とともに実現していきたいと考えています。今後も地域社会の発展に貢献できる企業を目指してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

3. 当社の新しい企業理念、長期ビジョンについて

今後、当社が地域と共に100年企業へと歩みを進めていくために、新「企業理念」や「長期経営ビジョン」を旗印として、「地域密着」を一層磨き、「地域の未来を共創するライフプラットフォーム企業」として、地域に寄り添ってまいります。

ロードマップ



（紙面の都合上 AI で要約してあります）

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す



クラブ会報委員会よりお願い
委員会報告等は書面かメールで提出いた
だけますようお願い致します